

3年3組「特別の教科 道徳」学習指導略案

- 1 主題名 「それぞれのよいところ」A－(4)個性の伸長
 2 教材名 「三年元気組」 (出典：光村図書「道徳3 きみがいちばんひかるとき」)
 3 ねらいとする価値について

個性とは、個人特有の特徴や性格であるといわれている。個性の伸長は、自分の長所を生かして、更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。長所を伸ばすとともに短所についてもしっかりと受け止めることで、自分の個性の気付きにつなげていきたい。

4 本時の展開

○ねらい 自分の長所を伸ばすためにはどんな気持ちが大切か考えさせ、長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ※評価
導入	1. 自分のよいところを発表する。 ○自分のよいところは、どんなところですか。 ・ピアノの練習を頑張っているところ。 ・サッカーで得点が決められるように毎日練習するところ。 ・よいところはない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分のよいところを見つけ、のばすためには、どんな気持ちが大切なのか考えよう。</div>	◇自分のよいところを考えさせて、現在の自分自身の姿を見つめさせる。
展開	2. 教材について考える。 ○登場する友達の特徴を見つけましょう。 ・春人君はマラソンが得意で、大会で頑張ろうと思っている。 ・里花さんは、合唱が好きだという。 ①スピーチの内容について迷っているときの「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。 ・ぼくには、自慢できることや頑張っていることがない。 ・読書は頑張っているわけではない。話すことがないなあ。 ②先生の話聞き、「読書」のことを話そうと決めたときの「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 ・好きなことを話すのでもいいんだ。やってみよう。 ・ぼくにも読書という「自分らしいこと」がある。 ③☆高学年向けの本に挑戦した「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・自分にもよいところがあった。うれしい。 ・難しい本に挑戦して、もっと自分のよいところを増やそう。 ・応援してくれたみんなのためにも頑張るぞ。 ・難しい本に挑戦していくのが楽しみだな。 3. 自分について考える。 ○友達と、お互いのよいところや頑張っていることを伝え合ひましょう。それを聞いて、どんな気持ちになりましたか。 ・自分のよいところは掃除を頑張っているところだと言われてうれしかった。これからも頑張って掃除をしたい。	◇登場人物の言葉を手がかりにさせる。「ぼく」との特徴の違いを対比させる。 ◇読書は好きなだけで頑張っていないから自慢にならないと思い込んでいる姿を明確にし、「ぼく」の思いに共感させる。 ◇決心できた根拠を問うことで、自分を肯定的に受け止めた「ぼく」の姿に迫る。 ◇「ぼく」の気持ちをワークシートに書かせ、教師が意図的指名を行うことで、道徳的価値の理解が深まるようにする。 ◇グループで一人一人のよいところを伝え合う活動を行う。ワークシートに考えを表現させる。 ※自分の長所に気付き、伸ばそうとしているか。(発言、ワークシート)
終末	4. 教師の説話を聞く。	◇自分のよいところに気付き、それを伸ばすために頑張っている児童の話をする。